

報時志法団

お別れの辞

日本歸國希望の人々を乗せて行く船の出帆が我々に知らされてから早一ヶ月の日の流れて行つた。今度の十日出發と云ふ發表さへ何となく又延びるのでないかと疑はれる位である。而し今日の所六月十日早朝に高野出發と云ふ事は決定したものである。此の日の翌日午後一時から手荷物を集めるといふ事は已に出所者の皆様に御通知中止した通りで皆準備されつゝある事と思ふ。吾々の見ると早三年に近しい日を同じ釜の飯を食ふたと云ふ程親しい間柄の毎日であつた。諸君は生れし故郷に歸り我々は此の國に永住の決心で止ると云ふ命題の下に今日御別れす

る事になつた。兄弟親族に送られて横濱を出て来た時其まゝの氣持が吾々の胸によみがへつて来る。何となく云ふ言葉の本ない哀愁の氣持に包まれた心地。向ひ合つて握手しても胸につかへて一言も口から出て来ないであらう程悲しいお別れである。今更他人行儀に過ぎざし日の御厚情に感謝の言葉でもないだが色々と御世話になつた事を御禮言上せると共に吾々の記憶は長く残る事と思ふ。

世界は段々小さくなりつゝある。太平洋を一晝夜で渡り得る程の遠い將來の事でもないと思ふ。又お會ひする日は必ずある。其の喜びの日の来る事を思ふと幾分心の軽くなる様なきがする。

皆様どうかお元気で汽車中船中の平安ならん事を心からお祈りして皆様にお別れしよう。もう一度皆様御身を大切に、御元気で……

川島生

日本行出發時間

六月十日(月)早朝七時ハリソンホールに集合手荷物の検査済み次第船内に立所する事に決定しました。

手荷物は出發前日(白曜)午後一時より集める事になつて居りますから準備して下さい。

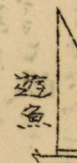
歸國者の超過荷物

本發前に各自處分新規定が適用される

日本歸國者の超過荷物の處分方法に關し種々疑問があり當局と折衝を重ねたが今回新規定に適用される規定により當局は超過荷物

は一切保管しない事が明かになつた。従つて今回の歸國者は出發前に超過荷物は所内或は外部の友人に依託するか又は譲渡するか各自が處分せねばならぬ。外部へ發送する場合は米國內であれば送料は無料であることは既報の通りである。尚トラーク所長も赤十字社に交渉中であるが未だ回答は得られて居らず後日赤十字社或は他の方法で日本へ送附出来る場合があつても一瑞雲館を本所とした以上所有者の名義で當局は取扱はなから依託された人の責任となり日本へ送附する場合は依託された人が費用を支拂はねばならぬ。但し赤十字社が支拂つて呉れる場合は別である。然し政府としては本所した以上責任は持たないといふのである。従つて超過荷物の有る方は御却つて御注意する所なり至急處分せられ様を要致します。

三角帆



▲世界を風靡してゐる食料難が當鎮有にも深刻に響いて来つゝあると警告されても戦時戦後の外貨を知らないう我々には戦前の景氣のよかつた姿ばかり頭に浮んで實際の深刻さは解らぬ。

▲我々の愛けてゐる待遇は立派なものである。が然し如何にい、符違だと云つても一概の水準生活以上のものでない事は云ふまでもない。

▲滿四ヶ年以上の館村生活は我々を併んだ人間にしてしまつたのかも知れないが銀行は一種の取巻である。その取巻の待遇が自由で生活してゐる人々より良からう等はないと思ふ。

▲だが食糧を無欲にする事は人の道に悖ることであり我々は飽までこれに注意せねばならぬ。一日半分も

"LUCKY PARTNERS"

GINGER ROGERS
RONALD COLEMAN

午後八時より
野外劇場にて

明晩の映画

食べないブレードを無理に一本買つて残りを捨てる様子は構まねばならぬ。

▲物資の豊富なき時、生産過剰な時代には物を儉約すると尖業者を増加する等、悪結果を齎すけれども戦後の過渡期に持てる者が持たざる者へ及ぼるための儉約には飽くまで物力せねばならぬと思ふ。

ホーム欄

ミルクの使い途

○アニオンスープ

四人前

ミルク一コト、玉葱(大)六個、麥粉、テイブルスプーン一匙半、卵黄 三個、トウフクリーム(ミルクの上に出来るクリーム)コップ一杯、バター、テイブルスプーン三匙、塩と胡椒、フライパンにバターを熱する玉葱を細く刻んでバターの中に入れて煮る、煮え始めたら玉葱を混ぜて、火を弱くして煮る、ミルクを加えて煮る、小麦粉を加えて三分間煮る、五分間炊く、ストローをこいて再び火にかけて塩と胡椒を味をつける、卵黄をビートしてクリームに加えてストローの中に入れて煮る。

三分間炊く、フライドブレッド片を上からふりかけ熱くして出す。

食堂に關し

當分の通達

食堂に關し種々嚴重な注意が殺せられ、一般の協力をお願いするが、食事中時間と退席するばかりでなく、今後は働かぬ以外の者が食堂の掃除から出入する事、嚴禁、違反した者は當分の罰金を課するとの事、御注意を願います、又食堂の食物を持ち帰り、自宅で食べることも病人以外は絶対に許されません、からその点も御注意を願います。

新入荷

腕時計(電子用) 五十席、ポイ用夏服 壹席、スリー、フラー、ポイド 三九仙

致し様、二十仙、下レマワ(男子用)各種、カーキ、パンツ、各種、澤庵漬、二十五仙、高野豆腐、二十仙、東京漬、七十五仙、花かつき、七十五仙、ペーパーカワブ(賣店)

佛教日曜禮拜

ハリソン、ホールに於て、六月九日(日曜)、日曜學校、午前九時、藤岡先生、おはな、玉井先生、佛土前禮拜、午前十時、越智先生、越智先生、夜の佛教禮拜、越智先生、会場の都合上、お休み。

夏季子弟別講座

今晚(金曜)午後七時、日本學校、十五教室にて、藝術としての能く、越智先生、講師。

友に贈る手紙

親き友

私共が釋放許可になり、抑留所の柵外に出る日が近づきました。本月の下旬で満三年間、水晶村に住むことになりました。俗諺に往れば都と申す、此處の美しい文靜な夕陽の道邊、ハインに離れ、水に住家、此草を煮て、出て行くのは、おれかと思ふ、心惜しく、涙がこぼれ、五年前を思い出すと、列印を押さる時は、地獄へ突き落とされるかと思つた、流るるは、英國政府の文明的取扱ひであつた、今、静かに想入れば、私、今日長年の牢獄の生活、であつた、そのコト、私に依つて、釋放された、私に、友人、生活は、愛、めて、地上に生存する、所以、他人の善意を、解、たの、抑留所の柵内、閉、込められた、この、こ、こ、こ、

です、もし私がイタリーに居た、家に歸らんと村、下りて行く、と大勢の人々が、寄り集つて、ロイ、強、い、で、お、わ、ら、う、何、に、お、わ、ら、う、か、と、た、づ、ね、た、ら、選、手、と、か、テ、モ、タ、ラ、シ、と、か、譯、解、から、お、わ、ら、う、と、語、ふ、群、集、の、中、誰、又、リ、ウ、が、見、知、り、の、人、の、見、つ、か、ら、お、わ、ら、う、に、不、思、議、だ、と、ア、ン、北、が、お、わ、ら、う、所、が、お、わ、ら、う、ウ、ア、ン、シ、ラ、ル、を、知、つ、た、者、は、居、な、い、か、と、大、聲、に、叫、び、け、お、わ、ら、う、の、兒、を、連、れた、年、若、く、婦、人、か、

「それは私の父の名です、二十年前、ウ、ア、ン、を、お、わ、ら、う、入、つ、た、限、り、歸、つ、て、來、て、呉、れ、ま、す、ん、多、分、死、ん、だ、ら、う、と、討、合、等、が、お、わ、ら、う、と、其、處、に、お、わ、ら、う、遣、つ、て、呉、れ、居、ま、す、と、と、物、語、ら、う、と、お、わ、ら、う、は、常、然、と、し、て、言、葉、が、お、わ、ら、う、な、つ、た、私、が、今、お、わ、ら、う、に、お、わ、ら、う、第、一、の、ウ、ア、ン、を、演、ず、ら、う、だ、ら、う、と、思、は、れ、金、を、途、方、に、お、わ、ら、う、す、す、金、曜、の、夕、誠、に、お、わ、ら、う、